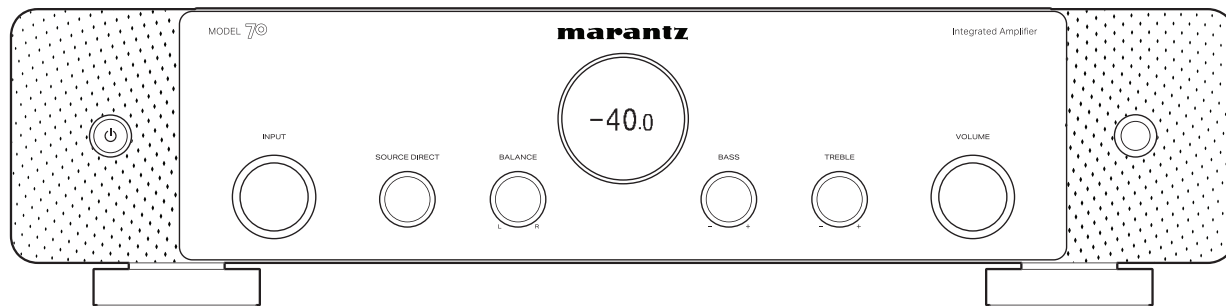


marantz



MODEL 70 | Integrated Amplifier

取扱説明書

目次

使用上のご注意	5
携帯電話使用時のご注意	5
お手入れについて	5
結露(つゆつき)について	5
付属品	6
乾電池の入れかた	7
リモコンの使いかた	7
各部の名前	8
フロントパネル	8
リアパネル	10
リモコン	12
接続のしかた	
スピーカーを接続する	18
スピーカーを接続する	19
サブウーハーを接続する	19
再生機器を接続する	20
テレビを接続する	21
テレビの HDMI ARC 端子に接続する	21
テレビの光デジタルまたは同軸デジタル音声出力端子に接続する	23
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	25

パワーアンプを接続する	26
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	27
Marantz 製オーディオ機器をリモート接続する	27
電源コードを接続する	28
再生のしかた	
基本操作	30
電源を入れる	30
電源をスタンバイにする	30
入力ソースを選ぶ	31
音量を調節する	31
一時的に音を消す(ミュートイング)	31
CD を再生する	32

Bluetooth 機器の音楽を聴く	33
Bluetooth 機器の音楽を聴く	34
2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする	35
Bluetooth 機器から本機に再接続する	35
Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く	36
Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く	37
Bluetooth ヘッドホンの音量を調節する	38
接続した Bluetooth ヘッドホンの機器名とコーデックを確認する	38
Bluetooth ヘッドホンに再接続する	39
Bluetooth ヘッドホンを切断する	39
デジタル入力を再生する	40
便利な機能	42
音質および音量バランスを調節する	42
ソースダイレクトモードで再生する	42
フィルター特性を切り替える	43
ディスプレイの明るさを切り替える	43

設定のしかた

設定メニュー 一覧	44
設定メニューの操作のしかた	45
TV Auto-Play	46
HDMI Power Off Control	46
Bluetooth	47
Volume Limit	48
Auto-Standby	48
Reset	49
リモコンコードを設定する	50
リモコンのリモコンコードを設定する	51
本体のリモコンコードを設定する	51

困ったときは

こんなときの解決方法	53
故障かな？と思ったら	55
電源が入らない / 電源が切れる	56
リモコンで操作ができない	58
本機のディスプレイが表示されない	59
音がまったく出ない	59
希望する音が出ない	60
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	61
Bluetooth が再生できない	62
デジタル機器の音声を再生できない(HDMI ARC、Coaxial、Optical)	64
入力ソースが“HDMI”、“OPTICAL”または“COAXIAL”に切り替わる	64
HDMI コントロール機能がはたらかない	65
FILTER 1/2 が切り替わらない	65
保証と修理について	66

付録

デジタル入力	68
Bluetooth 機器の再生について	68
HDMI について	69
用語の解説	70
登録商標について	71
主な仕様	72
索引	75

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1～2 時間放置してから使用してください。

ステレオ音のエチケット



音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

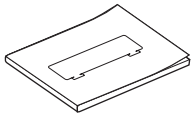
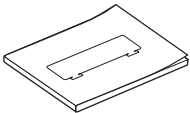
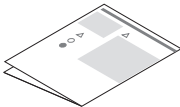
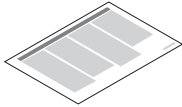
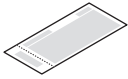
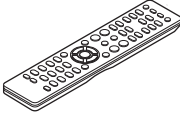
お買い上げいただきありがとうございます。

本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。

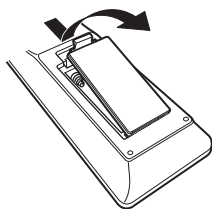
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

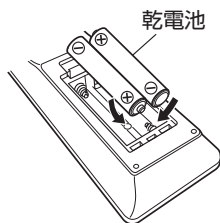
 かんたんスタートガイド	 取扱説明書(本書)	 安全にお使いいただくために	 電波に関するご注意
 保証書	 電源コード【本機専用】	 リモコン (RC006PMCD)	 単4形乾電池(2本)

乾電池の入れかた

- 1 裏ぶたを矢印の方向へ押し上げて取り外す。



- 2 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



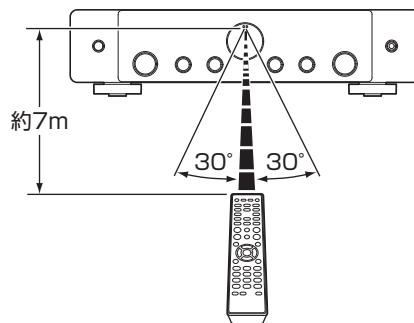
- 3 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

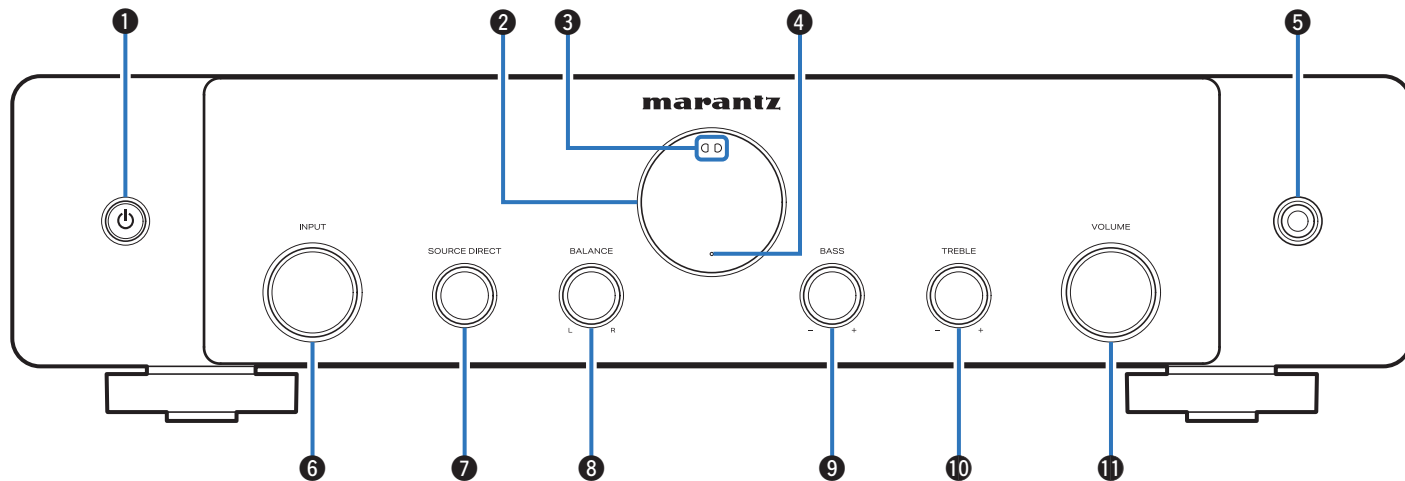
リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。

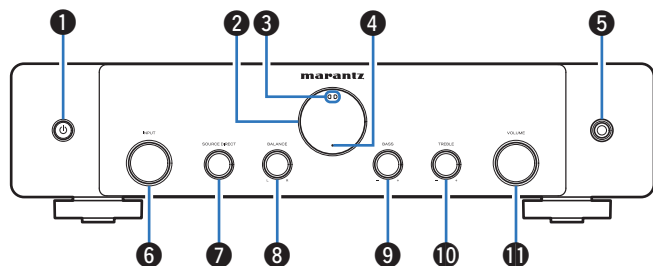


各部の名前

フロントパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。



① 電源ボタン(⏻)

電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(P.30 ページ)

② ディスプレイ

各種情報を表示します。

③ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(P.7 ページ)

④ 保護回路動作表示

保護回路がはたらいているときに点滅します。(P.57 ページ)

⑤ ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。

ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーおよびプリアンブ出力端子(PREAMP OUT)から音が出なくなります。

ご注意

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

⑥ 入力ソース切り替えつまみ(INPUT)

入力ソースを選択します。(P.31 ページ)

⑦ ソースダイレクト切り替えつまみ(SOURCE DIRECT)

ソースダイレクトモードをオン/オフします。(P.42 ページ)

⑧ バランス調節つまみ(BALANCE)

左右のスピーカーから出力する音量のバランスを調節します。(P.42 ページ)

⑨ 低音調節つまみ(BASS)

低音の音量を調節します。(P.42 ページ)

⑩ 高音調節つまみ(TREBLE)

高音の音量を調節します。(P.42 ページ)

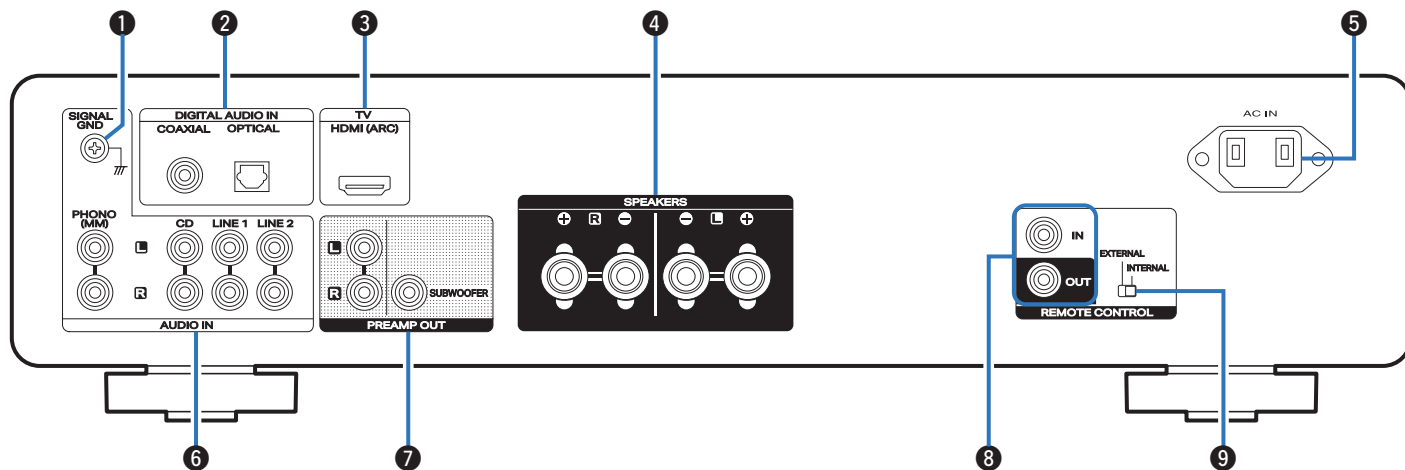
⑪ 音量調節つまみ(VOLUME)

音量を調節します。(P.31 ページ)

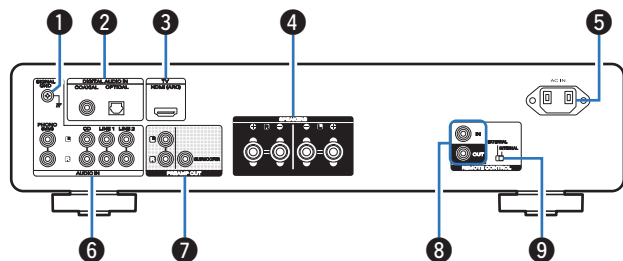


- ⑧、⑨ および ⑩ は ⑦ がオフ(ソースダイレクトモードがオフ)のときに調節できます。(P.42 ページ)

リアパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。



① アース端子(SIGNAL GND)

レコードプレーヤーのアース線を接続します。
([p.20](#) ページ)

② デジタル音声入力端子(DIGITAL AUDIO IN)

デジタル音声出力端子付きの機器を接続します。[\(p.25 ページ\)](#)

③ HDMI 端子(TV)

ARC 機能対応のテレビを接続します。[\(p.21 ページ\)](#)

④ スピーカー端子(SPEAKERS)

スピーカーを接続します。[\(p.18 ページ\)](#)

⑤ AC インレット(AC IN)

電源コードを接続します。[\(p.28 ページ\)](#)

⑥ アナログ音声入力端子(AUDIO IN)

アナログ音声出力端子付きの機器を接続します。[\(p.20 ページ\)](#)

⑦ プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)

パワーアンプやサブウーハーを接続します。

- 「サブウーハーを接続する」[\(p.19 ページ\)](#)
- 「パワーアンプを接続する」[\(p.26 ページ\)](#)



- サブウーハーを接続する場合、お手持ちのサブウーハーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

⑧ リモートコントロール入出力端子(REMOTE CONTROL)

リモートコントロール機能に対応している Marantz 製オーディオ機器を接続します。[\(p.27 ページ\)](#)

⑨ EXTERNAL/INTERNAL スイッチ

このスイッチを「INTERNAL」に設定すると、Marantz 製オーディオ機器とリモート接続した場合に本機でリモコン信号を受信して操作できます。[\(p.27 ページ\)](#)

12



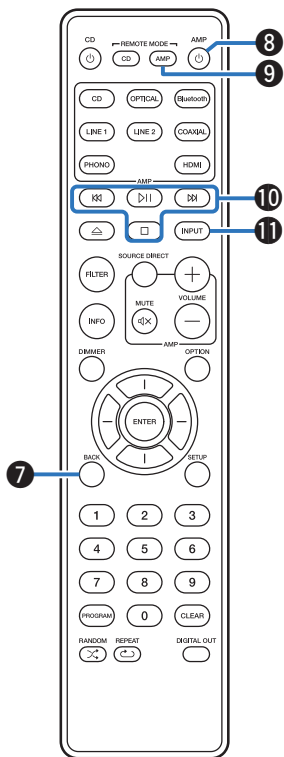
12

- 12

12

12

- 12



⑦ バックボタン(BACK)

前の項目に戻ります。

⑧ 電源ボタン(AMP ㊥)

電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(P.30 ページ)

⑨ リモートモード切り替えボタン(REMOTE MODE AMP)

リモコンの操作モードを本機に切り替えます。

⑩ システムボタン

Bluetooth 再生に関する操作をします。

- プレイ/ポーズボタン(⏮)

再生中にボタンを押すと、一時停止します。一時停止中および停止中にボタンを押すと、最後に再生した音楽の再生を再開します。

- スキップボタン(⏭)

再生中にボタンを押すと、次の曲を再生します。

- スキップボタン(⏮)

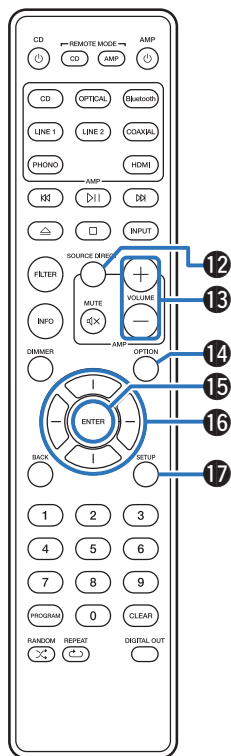
再生中にボタンを押すと、現在の曲の先頭から再生するか、前の曲を再生します。

- ストップボタン(⏹)

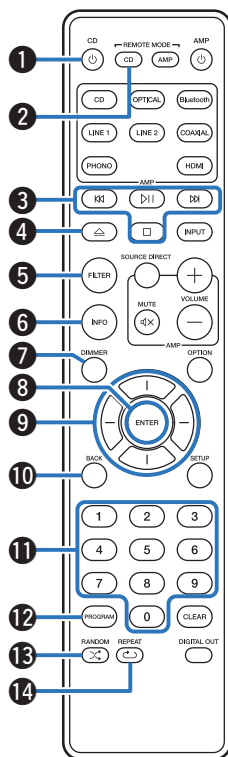
再生中にボタンを押すと、停止します。

⑪ 入力ソース切り替えボタン(INPUT)

入力ソースを切り替えます。(P.31 ページ)



- ⑫ **ソースダイレクトボタン(SOURCE DIRECT)**
ソースダイレクトモードのオン/オフを切り替えます。(42 ページ)
- ⑬ **音量調節ボタン(VOLUME +)**
音量を調節します。(31 ページ)
- ⑭ **オプションボタン(OPTION)**
Bluetooth ヘッドホン使用時、ディスプレイにオプションメニューを表示します。
 - 「Bluetooth ヘッドホンの音量を調節する」(38 ページ)
 - 「接続した Bluetooth ヘッドホンの機器名とコーデックを確認する」(38 ページ)
- ⑮ **エンターボタン(ENTER)**
選択した内容を確定します。
- ⑯ **カーソルボタン**
項目を選択します。
- ⑰ **セットアップボタン(SETUP)**
ディスプレイに設定メニューを表示します。(45 ページ)

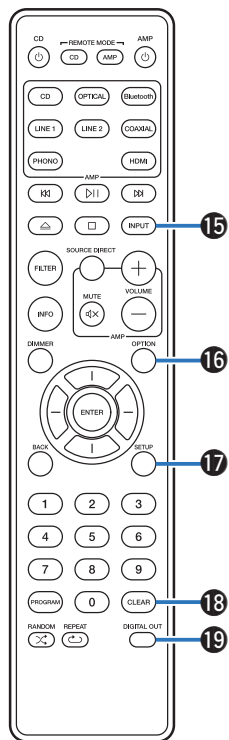


■ CD プレーヤーの操作

Marantz 製 CD プレーヤーを操作できます。

CD プレーヤーを操作するときは、リモートモード切り替えボタン(REMOTE MODE CD)を押して、リモコンを CD プレーヤーの操作モードに切り替えます。

- ① 電源ボタン(CD ㊤)
- ② リモートモード切り替えボタン(REMOTE MODE CD)
- ③ システムボタン
- ④ ディスクトレイ開閉ボタン(△)
- ⑤ フィルターボタン(FILTER)
- ⑥ インフォメーションボタン(INFO)
- ⑦ ディマーボタン(DIMMER)
- ⑧ エンターボタン(ENTER)
- ⑨ カーソルボタン
- ⑩ バックボタン(BACK)
- ⑪ 数字ボタン(0~9)
- ⑫ プログラムボタン(PROGRAM)
- ⑬ ランダムボタン(RANDOM ㊤)
- ⑭ リピートボタン(REPEAT ㊤)



- ⑮ 入力ソース切り替えボタン(INPUT)
- ⑯ オプションボタン(OPTION)
- ⑰ セットアップボタン(SETUP)
- ⑱ クリアボタン(CLEAR)
- ⑲ デジタル音声出力ボタン(DIGITAL OUT)



- 一部操作ができない製品もあります。

接続のしかた

■ 目次

スピーカーを接続する	18
再生機器を接続する	20
テレビを接続する	21
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	25
パワーアンプを接続する	26
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	27
電源コードを接続する	28

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。

スピーカーケーブル	
サブウーハーケーブル	
オーディオケーブル	
HDMI ケーブル	
光伝送ケーブル	
同軸デジタルケーブル	
リモート接続ケーブル	

スピーカーを接続する

ご注意

- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、サブウーハーの電源を切ってください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します。(「保護回路」(P70 ページ))
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- スピーカーは、インピーダンスが 4~16Ω のものを使用してください。

■ スピーカーケーブルを接続する

本機と接続するスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、+ (赤)、- (黒)をよく確認して、同じ極性を接続してください。

- 1 スピーカーケーブル先端の被覆を 10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理をおこなう。



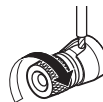
- 2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。



- 3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の穴に差し込む。

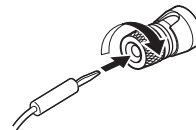


- 4 スピーカー端子を右に回して締める。

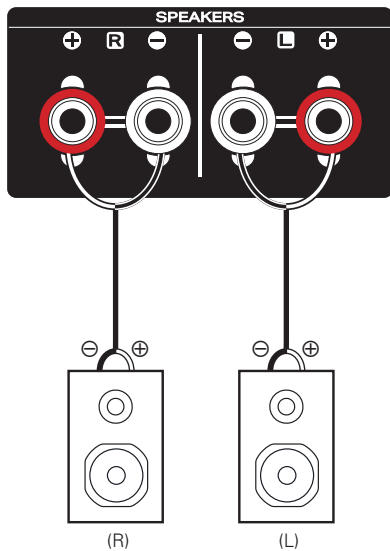


バナナプラグの場合

端子を右に回して締め付けてから挿入する。

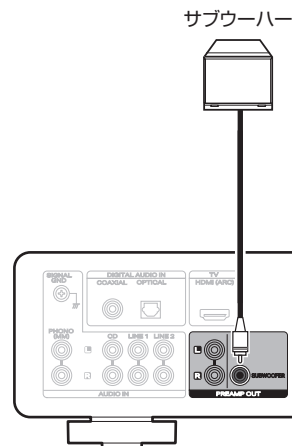


スピーカーを接続する



サブウーハーを接続する

サブウーハーケーブルを使用して、サブウーハーと接続します。

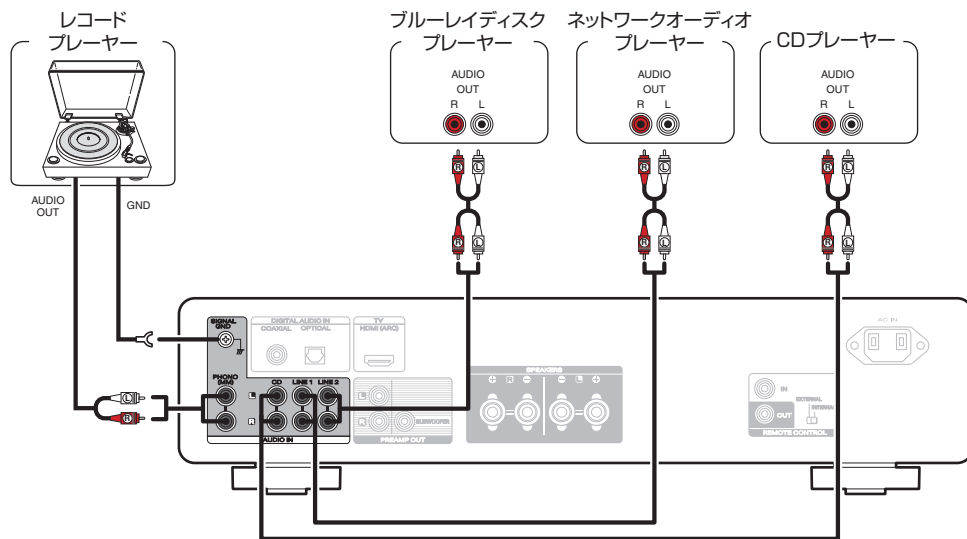


再生機器を接続する

本機には、レコードプレーヤー、ブルーレイディスクプレーヤー、ネットワークオーディオプレーヤーおよび CD プレーヤーを接続できます。

本機は、MM カートリッジ付きのレコードプレーヤーに対応しています。MC カートリッジ付きのレコードプレーヤーを接続する場合は、別売りの MC ヘッドアンプまたは昇圧トランスを使用してください。

本機の入力ソースを“PHONO”にし、レコードプレーヤーを接続せずに音量を上げると、“ブーン”という雑音が発生することがあります。



ご注意

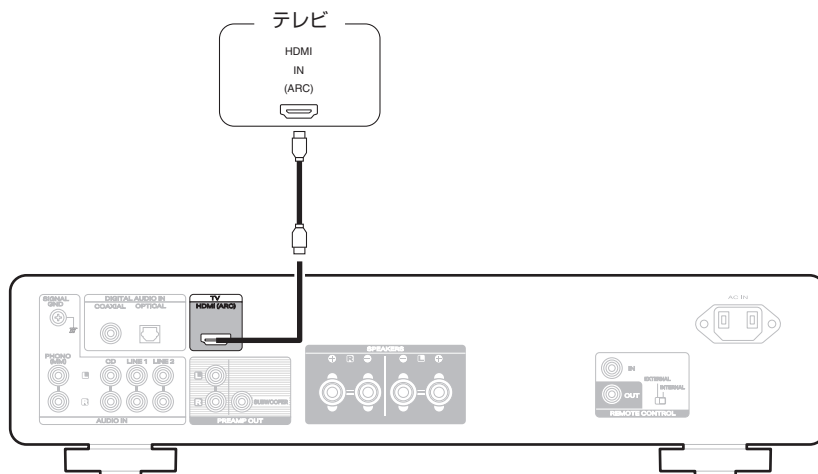
- 本機のアース端子(SIGNAL GND)は、安全アースではありません。雑音が多いときに接続すると、雑音を低減できます。ただし、レコードプレーヤーによっては、アース線を接続すると逆に雑音が大きくなる場合があります。この場合は、アース線を接続する必要はありません。

テレビを接続する

本機にテレビを接続し、テレビの音声を高音質でお楽しみいただくことができます。

テレビの HDMI ARC 端子に接続する

お手持ちのテレビの HDMI 端子が ARC 対応の場合、HDMI 接続してください。





- 本機にテレビを接続してお使いの場合、テレビに内蔵されたスピーカーの音声出力をオフに設定してください。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の HDMI (ARC) 端子にテレビを接続する場合、ARC 機能に対応したテレビの HDMI 入力端子に接続してください。
- ARC 機能に非対応のテレビと接続する場合、光デジタル接続または同軸デジタル接続でもテレビの音声を本機で再生できます。(P.23 ページ)

ご注意

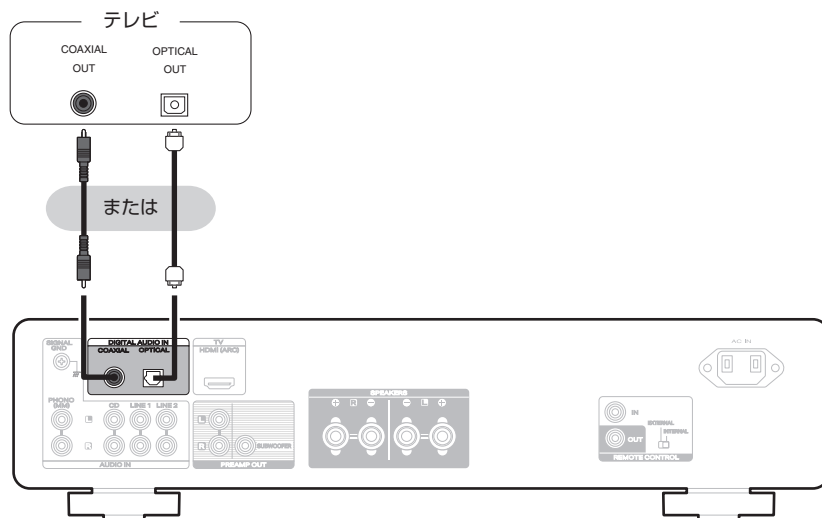
- HDMI ARC 経由でのテレビ音声の再生は、PCM 2 チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。
- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

■ 再生できる音声信号の仕様

「デジタル入力」(P.68 ページ)をご覧ください。

テレビの光デジタルまたは同軸デジタル音声出力端子に接続する

お手持ちのテレビの HDMI 端子が ARC 非対応の場合または HDMI 端子が無い場合、光デジタル接続または同軸デジタル接続してください。





- 本機にテレビを接続してお使いの場合、テレビに内蔵されたスピーカーの音声出力をオフに設定してください。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

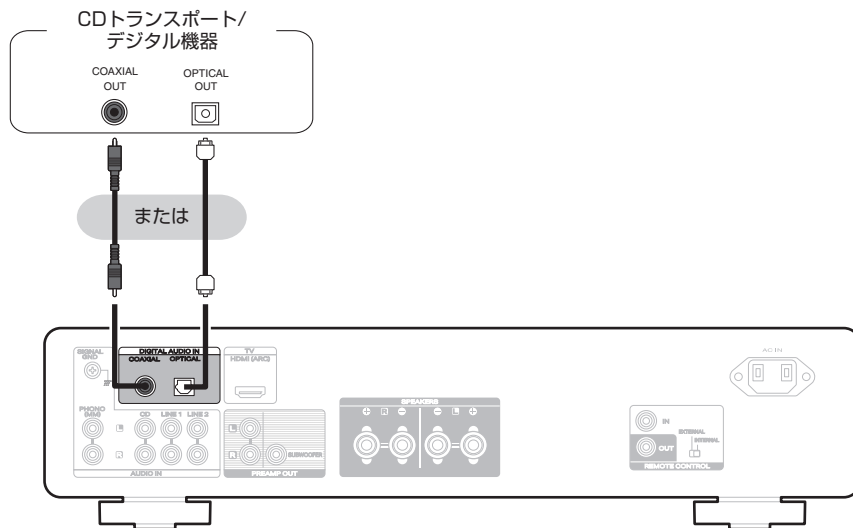
- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

■ 再生できる音声信号の仕様

「デジタル入力」(P.68 ページ)をご覧ください。

デジタル音声出力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声信号を入力すると、本機の D/A コンバーターで D/A 変換をおこなって再生できます。(P.40 ページ)

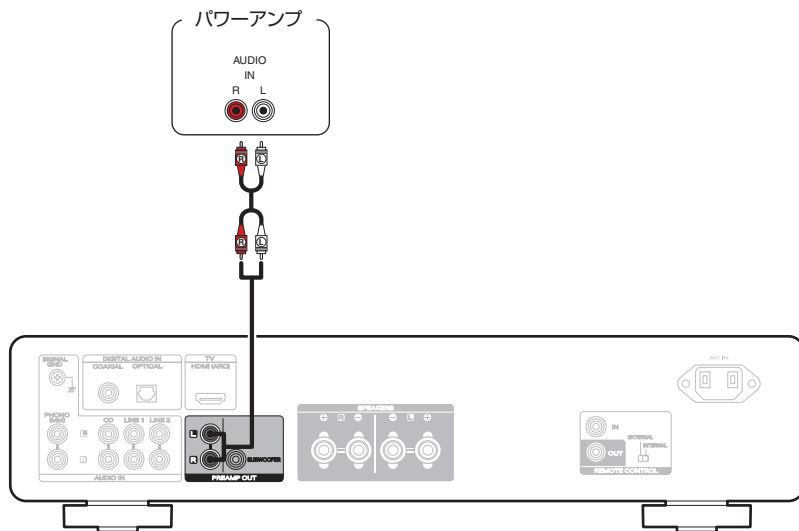


■ 再生できる音声信号の仕様

「デジタル入力」(P.68 ページ)をご覧ください。

パワーアンプを接続する

パワーアンプを接続して、本機をプリアンプとして使うことができます。



- プリアンプ出力端子(PREAMP OUT)から出力する音声信号の音量は、スピーカーの音量に連動します。

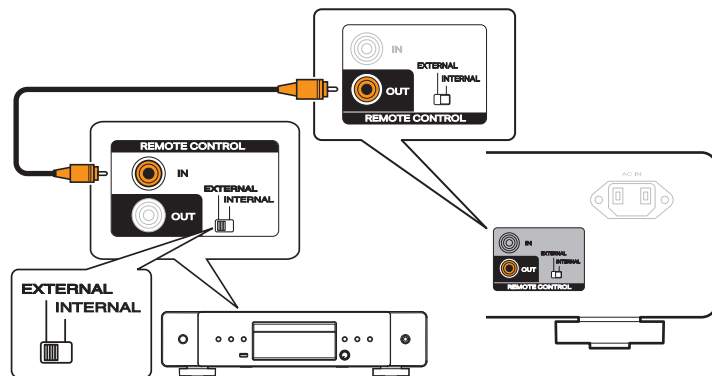
リモートコントロール端子付きの機器を接続する

Marantz 製オーディオ機器をリモート接続する

Marantz 製オーディオ機器に付属しているリモート接続ケーブルを使用して REMOTE CONTROL IN/OUT 端子に機器を接続するだけでリモコン信号を転送できます。

本機および接続する機器の背面にある EXTERNAL/INTERNAL スイッチを次のとおり設定してください。

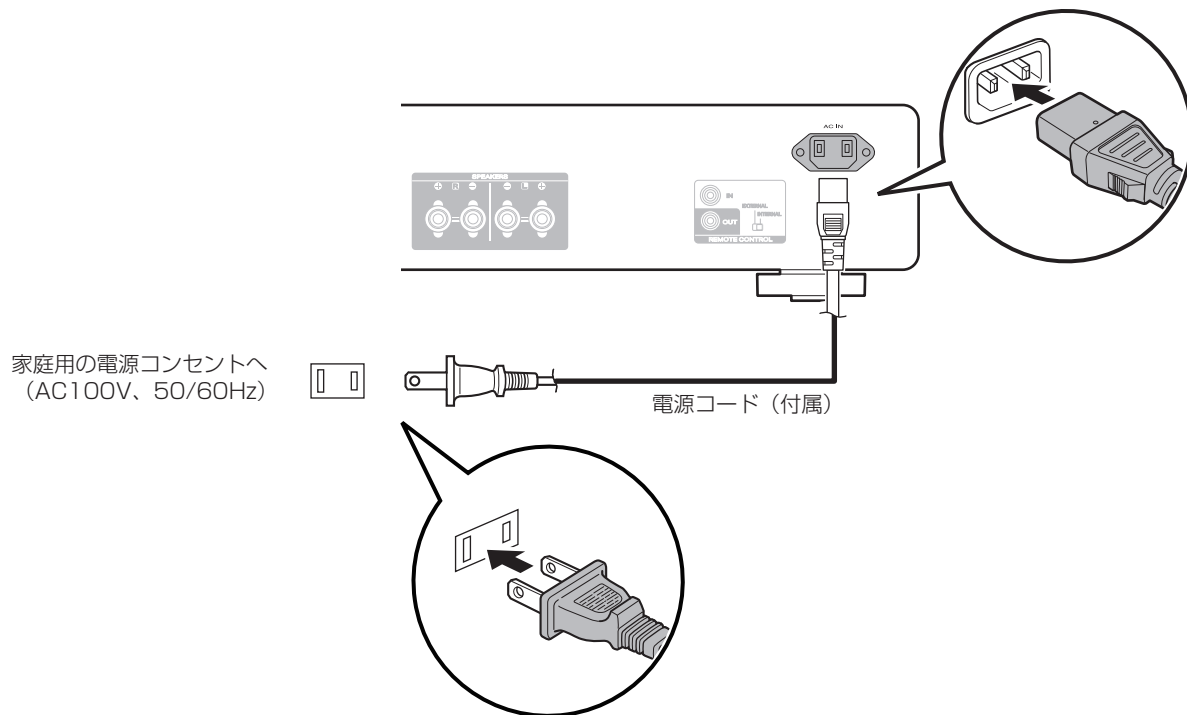
- 本機の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを “INTERNAL” に切り替えます。
- 接続した機器の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを “EXTERNAL” に切り替えます。



- リモコンは本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
- Marantz 製オーディオ機器を接続せずに本機のみで使用する場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを “INTERNAL” に切り替えてください。
- EXTERNAL/INTERNAL スイッチを “EXTERNAL” に切り替えると、本機のリモコン受光部による受信は無効になります。

電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



再生のしかた

■ 目次

基本操作

電源を入れる	30
電源をスタンバイにする	30
入力ソースを選ぶ	31
音量を調節する	31
一時的に音を消す(ミュートイング)	31

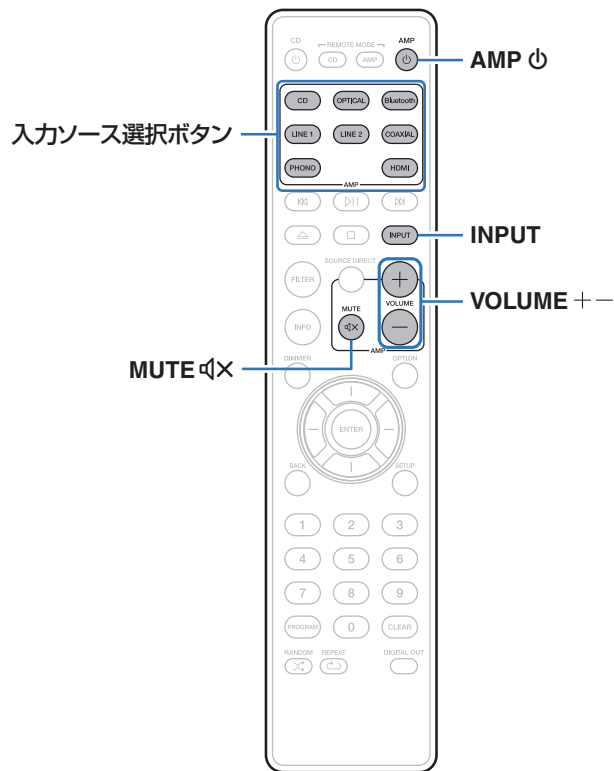
機器を再生する

CD を再生する	32
Bluetooth 機器の音楽を聴く	33
Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く	36
デジタル入力を再生する	40

便利な機能

音質および音量バランスを調節する	42
ソースダイレクトモードで再生する	42
フィルター特性を切り替える	43
ディスプレイの明るさを切り替える	43

基本操作



電源を入れる

- 1 AMP ㊤を押して、電源を入れる。
ディスプレイが点灯します。



- 本体の ㊤ を押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができます。

電源をスタンバイにする

- 1 AMP ㊤を押す。
スタンバイ状態になります。



- 本体の ㊤ を押しても、スタンバイ状態にすることができます。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

入力ソースを選ぶ

1 入力ソース選択ボタンを押して再生する入力ソースを選ぶ。

ディスプレイに選んだ入力ソースを表示します。



- INPUT を押しても、入力ソースを選択できます。
- 本体の INPUT を回しても、入力ソースを選択できます。

音量を調節する

1 VOLUME + を押して、音量を調節する。

ディスプレイに音量を表示します。



- 本体の VOLUME を回しても、音量を調節できます。

一時的に音を消す(ミュートイング)

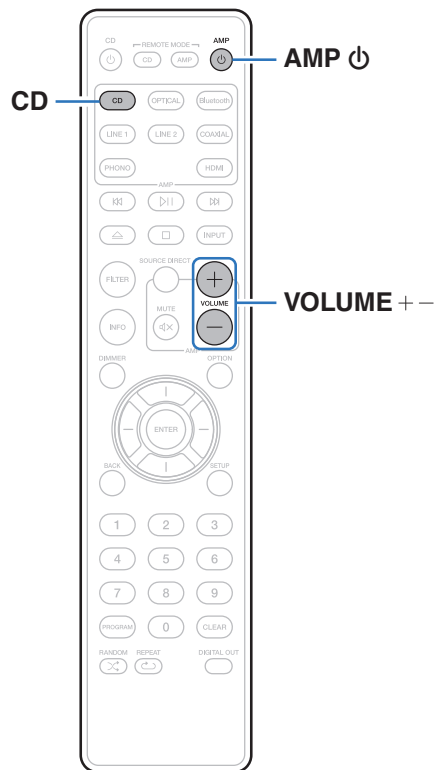
1 MUTE を押す。

ディスプレイに“Mute”を表示します。



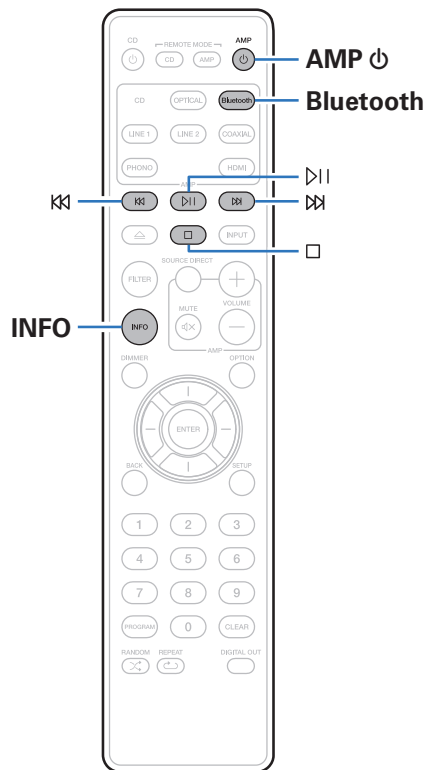
- ミュートイングを解除するときは、音量を調節するか、もう一度 MUTE  を押してください。

CDを再生する



- 1 再生の準備をする。
接続を確認して、本機の電源を入れてください。(「再生機器を接続する」(P.20 ページ))
- 2 AMP ㊤を押して、電源を入れる。
- 3 入力ソース選択ボタン(CD)を押して、入力ソースを“CD”に切り替える。
ディスプレイに“CD”を表示します。
- 4 CD を再生する。
- 5 VOLUME +- を押して、音量を調節する。

Bluetooth 機器の音楽を聴く



スマートフォンやデジタル音楽プレーヤーなどの Bluetooth 機器と本機をペアリングして接続すると、Bluetooth 機器の音楽ファイルをワイヤレスで楽しむことができます。
約 30 m の範囲内で通信できます。

ご注意

- Bluetooth 機器の音楽を再生するには、Bluetooth 機器が A2DP プロファイルをサポートしている必要があります。

Bluetooth 機器の音楽を聴く

Bluetooth 機器の音楽を本機で楽しむときは、あらかじめご使用になる Bluetooth 機器と本機をペアリングしてください。
一度ペアリングすれば、再度ペアリングする必要はありません。

1 AMP ボタンを押して、電源を入れる。

2 Bluetooth を押す。

本機で Bluetooth 再生をはじめてご使用になる場合は、自動的にペアリングモードになり、本機のディスプレイに“Bluetooth Pairing...”を表示します。

3 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。

4 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。

本機のディスプレイに“Bluetooth Pairing...”が表示されている間に、Bluetooth 機器の接続操作をおこなってください。

また、Bluetooth 機器の接続操作は、本機に近い距離(1m 程度)でおこなってください。

5 Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。

- 本機のリモコンでも Bluetooth 機器を操作できます。
- 次回以降、リモコンの Bluetooth を押した場合、本機は自動的に最後に接続していた Bluetooth 機器に接続します。

操作ボタン	機能
▶	再生/一時停止
□	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
INFO	Bluetooth 情報画面の表示切り替え

2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする

Bluetooth 機器と本機をペアリングします。

- 1 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。
- 2 リモコンの Bluetooth を 3 秒以上長押しする。
本機はペアリングモードになります。
- 3 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。



- 本機は最大 6 台の Bluetooth 機器とペアリングできます。7 台目の Bluetooth 機器をペアリングすると、一番古い機器に置き換えて登録します。

ご注意

- 本機のリモコンで操作するには、Bluetooth 機器が AVRCP プロファイルに対応している必要があります。
- すべての Bluetooth 機器に対するリモコン操作を保証するものではありません。
- Bluetooth 機器によっては、本機は Bluetooth 機器で設定している音量と連動して音声を出力します。

Bluetooth 機器から本機に再接続する

ペアリングが済んでいれば、本体の操作をせずに接続することができます。

再生する Bluetooth 機器を切り替える場合にもこの操作をおこなってください。

- 1 現在接続している Bluetooth 機器がある場合、その機器の Bluetooth 設定をオフにして接続を切断する。
- 2 接続したい Bluetooth 機器の Bluetooth 設定をオンにする。
- 3 お使いの Bluetooth 機器の Bluetooth 機器リストから本機を選択する。
- 4 Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。

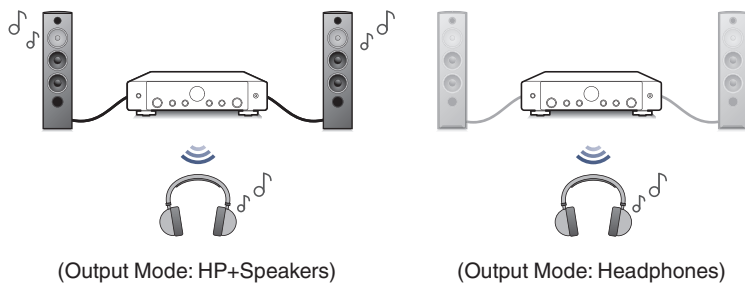


- 本機の電源および Bluetooth 機能がオンのとき、Bluetooth 機器の接続操作をおこなうと、自動的に入力ソースを“Bluetooth”に切り替えます。
- 本機がスタンバイ状態のときに Bluetooth 機器から Bluetooth 接続および再生操作をおこなうと、自動的に本機の電源はオンになります。

Bluetoothヘッドホンで本機の音声を聴く

本機で再生している音声を Bluetooth ヘッドホンで聴くことができます。

本機の Bluetooth 送信機能は、ご使用の環境に合わせてスピーカーと Bluetooth ヘッドホンから音声を同時に出力したり、Bluetooth ヘッドホンからのみ音声を出力したりすることができます。



Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く

- 1 設定メニューの“Bluetooth”の設定で、“Headphone”を“On”に設定する。(P47 ページ)
- 2 “Output Mode”を選び、音声の出力方法を設定する。

HP+Speakers (お買い上げ時の設定):	音声は Bluetooth ヘッドホンとスピーカーに出力されます。 Bluetooth ヘッドホンを使用してもスピーカーから音声出力されますので、ご家族と一緒に映画などを楽しむことができます。
Headphones:	音声は Bluetooth ヘッドホンにのみ出力されます。 夜間など一人で音楽や映画を視聴したいときにご使用ください。
- 3 本機に接続したい Bluetooth ヘッドホンをペアリングモードにする。
- 4 “Devices”を選び、デバイスリストから接続したい Bluetooth ヘッドホンの機器名を選ぶ。
- 5 接続が完了したら、Bluetooth ヘッドホン側で音量を調節する。



- Bluetooth ヘッドホンの接続と同じ操作で A2DP プロファイル対応の Bluetooth スピーカーも接続できます。

ご注意

- Bluetooth ヘッドホンの音量は、本機の音量調節つまみ (VOLUME) やリモコンの音量調節ボタン (VOLUME +) では調節できません。Bluetooth ヘッドホン側で音量を調節してください。
- 音量調節機能がない Bluetooth ヘッドホンを使用する場合または十分な音量が得られない場合は、オプションメニューの“HP Level”で音量を調節してください。(P38 ページ)
- 設定メニューの“Volume Limit”設定は、Bluetooth ヘッドホンの音声出力には反映されません。
- BASS、TREBLE、BALANCE およびソースダイレクトモードの設定は、Bluetooth ヘッドホンの音声出力には反映されません。
- Bluetooth ヘッドホンに送信する音声は遅延する場合があります。
- Bluetooth 入力ソースを選択している場合は、Bluetooth ヘッドホンを接続できません。
また、Bluetooth 入力ソースを選択すると、本機と Bluetooth ヘッドホンの接続が切断されます。

Bluetooth ヘッドホンの音量を調節する

音量調節機能がない Bluetooth ヘッドホンを使用する場合または十分な音量が得られない場合は、オプションメニューの“HP Level”で音量を調節してください。

- 1 **OPTION を押す。**
オプションメニュー画面を表示します。
- 2 **カーソル 上/下を押して“HP Level”を選び、ENTER を押す。**
- 3 **カーソル 上/下を押して音量を調節する。**

-50 dB～+10 dB(お買い上げ時の設定:0 dB)



- この設定は、接続する Bluetooth ヘッドホンの機種を問わず共通で反映されます。

接続した Bluetooth ヘッドホンの機器名とコーデックを確認する

- 1 **OPTION を押す。**
オプションメニュー画面を表示します。
- 2 **カーソル 上/下を押して Bluetooth ヘッドホンのデバイス名を選ぶ。**
デバイス名の下にコーデックを表示します。

Bluetooth ヘッドホンに再接続する

一度ペアリングが済んでいれば、次のいずれかの操作をすると、最後に使用した Bluetooth ヘッドホンに再接続できます。

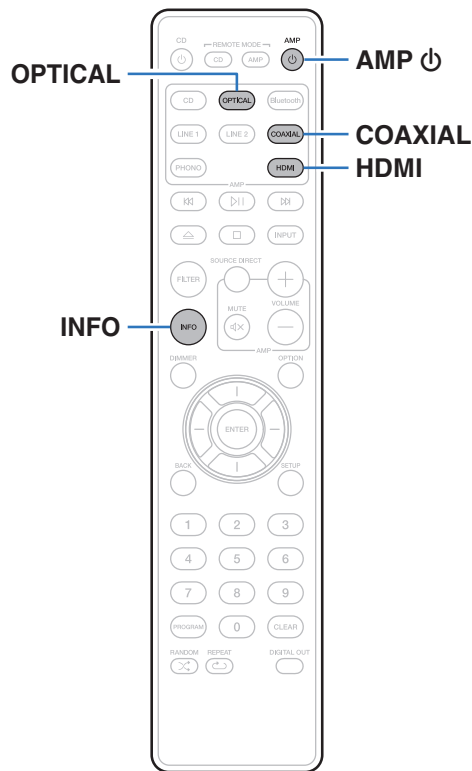
- Bluetooth ヘッドホンの再接続機能を使用して、本機に再接続する。
- “Output Mode”が“HP+Speakers”に設定されている場合、本機は電源をオンにすると、最後に使用した Bluetooth ヘッドホンに自動的に接続する。
- 設定メニューの“Bluetooth” - “Devices”から接続したい機器名を選択する。(P.47 ページ)

Bluetooth ヘッドホンを切断する

次のいずれかの操作をすると、Bluetooth ヘッドホンとの接続を切断できます。

- Bluetooth ヘッドホンの電源をオフにする。
- 設定メニューの“Bluetooth”の設定で“Headphone”を“Off”に設定する。(P.47 ページ)

デジタル入力を再生する



- 1 再生の準備をする。**
接続を確認して、本機の電源を入れてください。〔「テレビを接続する」〕(P.21 ページ)、「デジタル音声出力端子付きの機器を接続する」(P.25 ページ))
- 2 AMP ㊦を押して、電源を入れる。**
- 3 HDMI、COAXIAL または OPTICAL を押して、入力ソースを「HDMI」、「COAXIAL」または「OPTICAL」に切り替える。**
- 4 本機に接続した機器を再生する。**
 - ・ サンプリング周波数を検出できない場合は、「Unlocked」を表示します。
 - ・ 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、「Unsupported」を表示します。



- 設定メニューの“TV Auto-Play”の設定をおこなうと、本機に接続したテレビの電源オン操作に連動して自動的に本機の電源をオンにし、入力ソースを“HDMI”、“COAXIAL”または“OPTICAL”に切り替えます。
(46 ページ)
- テレビを光デジタル接続または同軸デジタル接続している場合、テレビの電源オフ操作で本機をスタンバイ状態にできません。自動的に本機をスタンバイにしたい場合は、設定メニューの“Auto-Standby”を設定してください。
(48 ページ)

ご注意

- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- ARC 経由でのテレビ音声の再生は、PCM 2 チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。

■ 音声フォーマットおよびサンプリング周波数を表示する

再生中に INFO を押す。

- ボタンを押すたびに、表示/非表示を切り替えます。

■ 再生できる音声信号の仕様

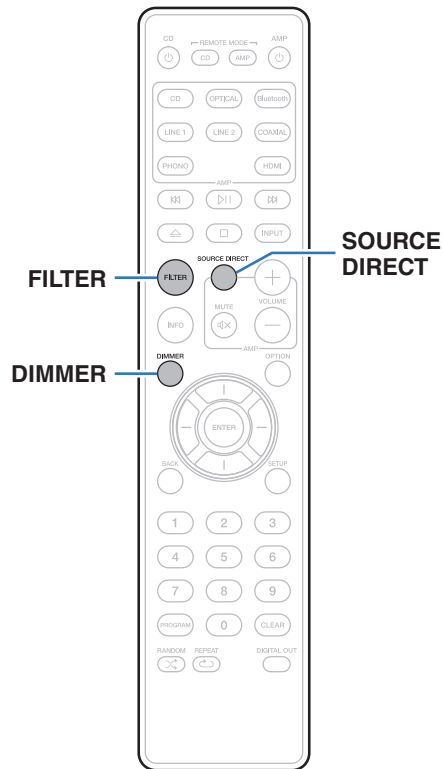
「デジタル入力」(68 ページ)をご覧ください。

■ HDMI コントロール機能

本機と HDMI コントロール機能対応のテレビを HDMI ケーブルで接続し、テレビの HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、テレビのリモコンで本機の基本操作(入力ソース切り替え、電源オン/オフ、音量調節)をおこなえます。

HDMI コントロール機能については、「HDMI について」(69 ページ)をご覧ください。

便利な機能



ここでは、各入力ソースで使用できる便利な機能の操作方法を説明します。

音質および音量バランスを調節する

1 本体の BASS、TREBLE および BALANCE を回して音質および音量バランスを調節する。



- 本機がソースダイレクトモードの場合、BASS、TREBLE および BALANCE の調節ができません。リモコンの SOURCE DIRECT を押すか本体の SOURCE DIRECT を回して、ソースダイレクトモードをオフにしてください。

ソースダイレクトモードで再生する

音声信号が音質調節回路(BASS、TREBLE、BALANCE)を通らないため、より原音に忠実な再生ができます。

1 SOURCE DIRECT を押してソースダイレクトモードをオンにする。

ディスプレイに“Source Direct”を表示します。



- 本体の SOURCE DIRECT を回すと、ソースダイレクトモードのオン/オフが交互に切り替わります。

フィルター特性を切り替える

本機にはお好みの音質で再生をお楽しみいただけるように音質の調節機能を搭載しています。この機能は、デジタル音声信号入力時および Bluetooth 再生時にのみはたります。

1 FILTER を押す。

ボタンを押すたびに、Filter 1 と Filter 2 が切り替わります。

Filter 1

(お買い上げ時の設定):

インパルス応答は、プリエコー、ポストエコー共に短い特性です。非常に正確なサウンドステージとスムーズなトーンバランスです。

Filter 2:

非常に短いプリエコーと、プリエコーに比べて長いポストエコーの非対称インパルス応答の特性です。ニュートラルなトーンバランスで、“Filter 1” と比べるとわずかに明るい音調です。

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさを 4 段階で調節できます。ディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 DIMMER を押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。



- ディスプレイが消灯しているときにボタン操作をおこなうと、一時的に情報を表示します。
- お買い上げ時のディスプレイの明るさは、最も明るい設定です。

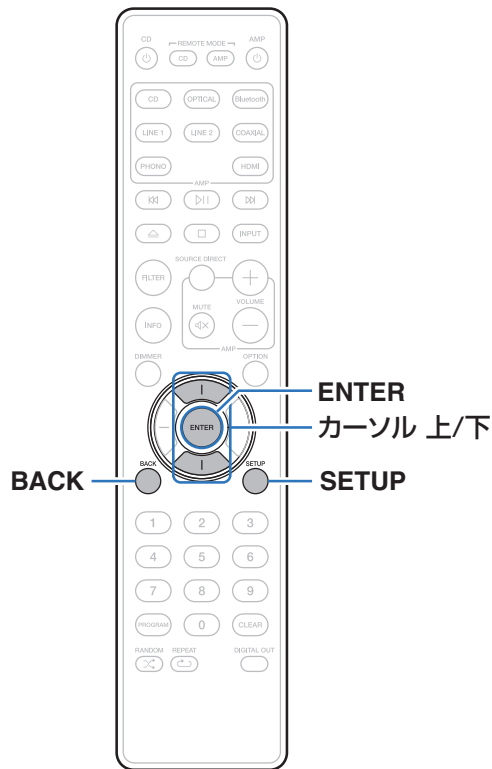
設定のしかた

設定メニュー 一覧

設定メニューの操作をおこなうときは、参照ページをご覧ください。

お買い上げ時の設定をおすすめの設定にしています。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズできます。

設定項目	内容	参照ページ
TV Auto-Play	本機にテレビの音声信号を入力すると、自動的に入力ソースを切り替えてテレビの音声を再生する“TV Auto-Play”機能の設定をします。	46
HDMI Power Off Control	テレビの電源オフ操作に連動して本機の電源がスタンバイになる、“HDMI Power Off Control”機能の設定をします。	46
Bluetooth	Bluetooth 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。Bluetooth 送信の設定をします。	47
Volume Limit	音量の上限を設定します。設定した音量以上は出力できません。	48
Auto-Standby	音声の入力がない状態で本機を約 15 分間操作しないとき、自動的にスタンバイになるように設定します。	48
Reset	各種設定がお買い上げ時の設定に戻ります。	49



設定メニューの操作のしかた

- 1 **SETUP** を押す。
ディスプレイに設定メニューを表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して設定または操作したい設定メニューを選び、**ENTER** を押す。
- 3 カーソル 上/下を押して、好みの設定に変更する。
- 4 **ENTER** を押して設定を確定する。
 - 前の項目に戻るときは、**BACK** を押してください。
 - 設定メニューを終了するときには、設定メニュー表示中に **SETUP** を押してください。通常表示に戻ります。

TV Auto-Play

本機にテレビの音声信号を入力すると、自動的に入力ソースを切り替えてテレビの音声を再生する“TV Auto-Play”機能の設定をします。テレビとの接続に使用する端子に合わせて設定してください。

HDMI ARC / Optical / Coaxial / Off

(お買い上げ時の設定:HDMI ARC)



- 設定した入力ソースの音声信号をスタンバイ時に入力すると、自動的に電源がオンになりテレビの音声を再生します。
- お使いのテレビによっては、“TV Auto-Play”機能がはたらかない場合があります。

HDMI Power Off Control

HDMI 接続しているテレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源がスタンバイになる“HDMI Power Off Control”機能の設定をします。

All

(お買い上げ時の設定):

本機の入力ソースに関わらず、テレビの電源をオフにすると、自動的に本機の電源がスタンバイになります。

HDMI ARC:

入力ソースが HDMI のときにテレビの電源をオフにすると、自動的に本機の電源がスタンバイになります。

Off:

本機はテレビの電源に連動しません。

Bluetooth

■ Bluetooth

Bluetooth の受信機能と送信機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

On (お買い上げ時の設定):	Bluetooth 機能をオンにします。
---------------------------	----------------------

Off:	Bluetooth 機能をオフにします。
-------------	----------------------

■ Headphone

Bluetooth ヘッドホン送信機能の有効/無効を設定します。本機の音声を Bluetooth ヘッドホンで聴くときにおこなう設定です。

On:	Bluetooth ヘッドホン送信機能を使用します。
------------	----------------------------

Off (お買い上げ時の設定):	Bluetooth ヘッドホン送信機能を使用しません。
----------------------------	-----------------------------

■ Output Mode

音声の出力方法を選択します。

HP + Speakers (お買い上げ時の設定):	音声は Bluetooth ヘッドホンとスピーカーに出力されます。
--------------------------------------	-----------------------------------

Headphones:	音声は Bluetooth ヘッドホンにのみ出力されます。
--------------------	-------------------------------

■ Devices

- 本機に接続したい Bluetooth ヘッドホンがペアリングモードに入ると、使用可能な機器がデバイスリストに表示されます。リストから機器名を選択して本機とペアリングしてください。
- 本機に接続できる Bluetooth ヘッドホンは 1 台です。最大 6 台まで Bluetooth ヘッドホンを登録することができます。設定メニューの“Bluetooth” - “Devices”から登録済みの機器を切り替えることができます。
- 登録済みの機器をリストから削除したい場合は、カーソル上/下ボタンを押して機器名を選択後、OPTION ボタンを押して“Forget This Device”が表示されたら ENTER ボタンを押してください。



- Bluetooth ヘッドホンの接続と同じ操作で A2DP プロファイル対応の Bluetooth スピーカーも接続できます。

ご注意

- Bluetooth 送信機能と Bluetooth 受信機能を同時に使用することはできません。Bluetooth 機器で音楽を聴いている場合、Bluetooth 送信機能は使用できません。
- "Headphone"を"On"に設定していても、リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを"Bluetooth"に設定すると、Bluetooth 受信機能が有効になります。
スマートフォンなどの Bluetooth 機器に保存されている音楽を本機で再生したい場合は、リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを Bluetooth に切り替えてから Bluetooth 機器と再接続してください。

Volume Limit

音量の上限を設定します。設定した音量以上は出力できません。

Off (お買い上げ時の設定):	音量の上限を設定しません。(0)
---------------------	------------------

-60 ~ -5

Auto-Standby

音声の入力がない状態で本機を約 15 分間操作しないとき、自動的にスタンバイになるように設定します。

On:	本機をオートスタンバイモードに設定します。
-----	-----------------------

Off (お買い上げ時の設定):	本機をオートスタンバイモードに設定しません。
---------------------	------------------------

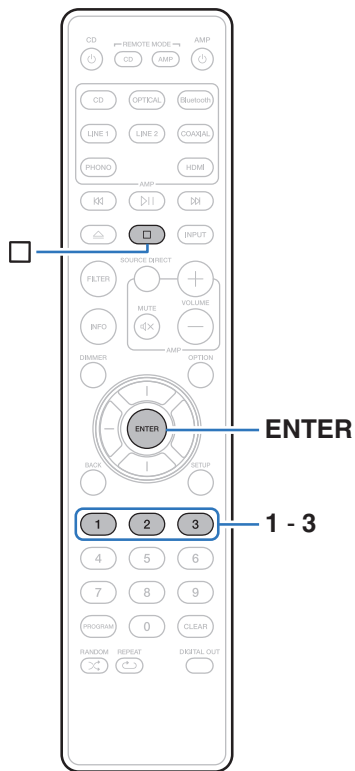
Reset

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。各種設定内容がお買い上げ時の設定に戻ります。再度設定をおこなってください。

Cancel:	リセットしません。
---------	-----------

OK:	リセットします。
-----	----------

リモコンコードを設定する



本体および付属のリモコンには、リモコンコードが設定されています。それぞれの機器では、3 種類のリモコンコードから 1 つを選ぶことができ、本体とリモコンのリモコンコードが同じ場合に、リモコンで本体を操作できます。本機を 3 台同じ場所に設置する場合、お買い上げ時の設定のままでは、1 つのリモコン操作に対して 3 台すべてが同じ動作をします。本体とリモコンが 1 対 1 で対応するようにリモコンコードを個別に設定すると、1 つのリモコン操作に対して、同じリモコンコードを設定した本体のみが動作します。

リモコンコードを設定したあと、必ずそれぞれの機器の動作を確認してください。

お買い上げ時は“AMP1”に設定しています。



- 本機にリモート接続した Marantz 製ネットワーク CD プレーヤーなどから本機をコントロールする場合、リモコンコードを“AMP 1”に設定してください。(P.27 ページ)

リモコンのリモコンコードを設定する

■ リモコンコードを AMP1、AMP2 または AMP3 に設定する

1 □と数字ボタンの 1、2 または 3 を同時に 5 秒以上長押しする。

リモートモード切り替えボタンが緑色で点滅します。

- 選んだ数字ボタンに応じ、リモコンコードを AMP1、AMP2 または AMP3 に設定します。

ご注意

- リモコンから乾電池を取り外すとお買い上げ時の設定に戻ります。乾電池を交換した場合は、リモコンコードを再設定してください。

本体のリモコンコードを設定する

1 リモコンコードを設定したリモコンを本体に向け、□と ENTER を押す。

本体のリモコンコード設定が完了すると、設定したリモコンコード(AMP 1～3)を、ディスプレイに表示します。

困ったときは

■ 目次

こんなときの解決方法

高音質な再生を楽しみたい	53
お好みの音質に調節したい	53
原音に忠実な再生をしたい	53
フィルターの特性を切り替えて音質の違いを楽しみたい	53
テレビの音声を高音質に再生したい	53
HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機がスタンバイ状態にならないようにしたい	53
ディスプレイを消灯したい	53
誤って音量が大きくならないようにしたい	54
本機のリモコンで Marantz 製 CD プレーヤーを操作したい	54
本機をプリアンプとして使用したい	54
本機を複数台同じ場所で使用したい	54

故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	56
リモコンで操作ができない	58
本機のディスプレイが表示されない	59
音がまったく出ない	59
希望する音が出ない	60
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	61
Bluetooth が再生できない	62
デジタル機器の音声を再生できない(HDMI ARC、Coaxial、Optical)	64
入力ソースが“HDMI”、“OPTICAL”または“COAXIAL”に切り替わる	64
HDMI コントロール機能がはたらかない	65
FILTER 1/2 が切り替わらない	65

こんなときの解決方法

高音質な再生を楽しみたい

- Bluetooth 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。設定メニューの“Bluetooth”を“Off”に設定してください。(P.47 ページ)

好みの音質に調節したい

- 低音調節つまみ(BASS)、高音調節つまみ(TREBLE)、バランス調節つまみ(BALANCE)で好みの音質に調節してください。(P.42 ページ)

原音に忠実な再生をしたい

- ソースダイレクトモードをオンに設定してください。(P.42 ページ)

フィルターの特性を切り替えて音質の違いを楽しみたい

- フィルターの特性を切り替えてください。(P.43 ページ)

テレビの音声を高音質に再生したい

- 本機の HDMI (ARC) 端子にテレビを接続する場合、ARC 機能に対応した HDMI 入力端子に接続してください。(P.21 ページ)
- ARC 機能に非対応のテレビや、HDMI 端子が無いテレビと接続する場合、光デジタル接続または同軸デジタル接続でもテレビの音声を本機で再生できます。(P.23 ページ)
- 本機で再生できるデジタル音声信号は、2 チャンネルリニア PCM です。

HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機がスタンバイ状態にならないようにしたい

- “HDMI Power Off Control”の設定を“Off”にしてください。(P.46 ページ)

ディスプレイを消灯したい

- DIMMER ボタンを押して、ディスプレイの明るさを消灯にしてください。(P.43 ページ)

誤って音量が大きくならないようにしたい

- 設定メニューの“Volume Limit”で音量の上限値をあらかじめ設定してください。小さな子供が誤って音量を上げすぎることを防ぎます。(P.48 ページ)

本機のリモコンで Marantz 製 CD プレーヤーを操作したい

- 本機のリモコンでも Marantz 製 CD プレーヤーを操作できます。CD プレーヤーの取扱説明書もあわせてお読みください。(P.15 ページ)

本機をプリアンプとして使用したい

- パワーアンプを本機の PREAMP OUT 端子に接続してください。(P.26 ページ)

本機を複数台同じ場所で使用したい

- それぞれの機器とリモコンの組み合わせごとに、異なるリモコンコードを設定してください。(P.50 ページ)

故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(🔧 28 ページ)
- 本機はスタンバイ状態です。本体の  ボタンを押すかリモコンの AMP  ボタンを押してください。(🔧 30 ページ)

電源が自動的に切れる。

- “Auto-Standby”が設定されています。音声入力がない状態で約 15 分間本機を操作しないでいると、本機は自動的にスタンバイになります。“Auto-Standby”を無効にするには、設定メニューの“Auto-Standby”を“Off”に設定してください。(🔧 48 ページ)
- 本機と電源連動機能に対応した Marantz 製オーディオ機器をリモート接続することにより、本機に接続した機器の電源オフ操作に連動して本機の電源がオフ(スタンバイ)になります。(🔧 27 ページ)
- “HDMI Power Off Control”が設定されています。HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源がオフ(スタンバイ)になります。“HDMI Power Off Control”を無効にするには、設定メニューの“HDMI Power Off Control”を“Off”に設定してください。(🔧 46 ページ)

電源が切れ、保護回路動作表示が橙色に点滅している。

【1 回点滅+短く 2 回点滅】

- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。
- 電源を入れなおしても問題が解決しない場合は、本機のアンプ回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

【1 回点滅+短く 3 回点滅】

- 本機の電源回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

【1 回点滅+短く 4 回点滅】

- 機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいています。電源が切れている状態で、1 時間程度待ち、本機の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。
- 本機を風通しの良い場所に設置し直してください。
- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。

【1 回点滅+短く 5 回点滅】

- スピーカーの接続を確認してください。スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したため、保護回路がはたらいている可能性があります。電源コードを抜き、芯線をしっかりとよじり直すか、端末処理をするなどしたあとで、接続し直してください。(P.18 ページ)
- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。
- 電源を入れなおしても問題が解決しない場合は、本機のアンプ回路または電源回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

リモコンで操作ができない

リモコンで操作ができない。

- 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。(P7 ページ)
- リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。(P7 ページ)
- 本体とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
- 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。(P7 ページ)
- 本体のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。
- 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の赤外線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。
- リモコンのリモートモード切り替えボタン(REMOTE MODE AMP)を押して、リモコン操作モードを“AMP”にしてください。(P12 ページ)
- 本体とリモコンのリモコンコード設定が異なっています。本体とリモコンのリモコンコードを同じコードに設定してください。(P50 ページ)
- アンプと本機をリモート接続しない場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。(P27 ページ)

本機のディスプレイが表示されない

ディスプレイの表示が消える。

- リモコンの DIMMER ボタンを押して、消灯以外の設定に切り替えてください。(P.43 ページ)

音がまったく出ない

スピーカーから音が出ない。

- すべての機器の接続を確認してください。(P.17 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。ケーブルの芯線がスピーカー端子の金属部に接触していることを確認してください。(P.18 ページ)
- スピーカー端子をしっかり締めてください。また、スピーカー端子の締めつけが緩んでいないか確認してください。(P.18 ページ)
- 適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。(P.31 ページ)
- 音量が最小になっています。音量を適切な大きさに調節してください。(P.31 ページ)
- ミューティング(消音)モードを解除してください。(P.31 ページ)
- 接続した機器のデジタル音声出力の設定を確認してください。機器によってはお買い上げ時の設定が“オフ”になっていることがあります。
- 本体のヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを挿入していると、スピーカー端子から音が出なくなります。(P.9 ページ)
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- Bluetooth 接続で再生する場合は、本機と Bluetooth 機器をペアリングしてください。(P.33 ページ)

希望する音が出ない

音量が上がらない。

- 音量の上限値が低く設定されています。設定メニューの“Volume Limit”で上限値を設定してください。(P.48 ページ)

特定のスピーカーから音が出ない。

- スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。(P.18 ページ)
- バランス調節つまみ (BALANCE) を調節してください。(P.42 ページ)

サブウーハーから音が出ない。

- サブウーハーの接続を確認してください。(P.19 ページ)
- サブウーハーの電源を入れてください。

低音調節つまみ (BASS)、高音調節つまみ (TREBLE) およびバランス調節つまみ (BALANCE) の設定が反映されない。

- SOURCE DIRECT ボタンを押して、ソースダイレクトモードをオフに設定してください。(P.42 ページ)

ステレオ再生のときに、左右の音声が入れ替わっている。

- 左右のスピーカーが正しいスピーカー端子に接続されているか確認してください。(P.19 ページ)

プリアンプ出力端子 (PREAMP OUT) に接続したパワーアンプから音声为正しく出力されない。

- パワーアンプとの接続を確認してください。(P.26 ページ)
- プリアンプ出力端子 (PREAMP OUT) から出力する音声信号の音量は、スピーカーの音量に連動します。音量を適切な大きさに調節してください。(P.31 ページ)

音が途切れたり、ノイズが入ったりする

レコード再生のときに、音がひずむ。

- 針圧を調節してください。
- レコードの針先を確認してください。
- カートリッジを交換してください。

レコード再生のときに、“ブーン”という雑音がスピーカーから出力される。

- レコードプレーヤーが正しく接続されていることを確認してください。(P.20 ページ)
- レコードプレーヤーの近くにテレビや AV 機器などがあると、再生音に影響を受ける場合があります。レコードプレーヤーをテレビや AV 機器などから離して設置してください。

レコード再生のときに音量を大きくすると、“ワーン”という雑音がスピーカーから出力される。(ハウリング現象)

- レコードプレーヤーとスピーカーを離して設置してください。(P.20 ページ)
- スピーカーの振動が床を通してプレーヤーに伝わる場合があります。スピーカーの振動をクッションなどで吸収させてください。

Bluetooth が再生できない

本機に Bluetooth 機器が接続できない。

- Bluetooth 機器の Bluetooth 機能が有効になっていません。Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください、Bluetooth 機能を有効にしてください。
- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- Bluetooth 機器が A2DP プロファイルに対応していない場合、本機と接続できません。
- ご使用の Bluetooth 機器の電源を入れ直してから、再度接続をお試しください。
- 設定メニューの“Bluetooth”を“On”に設定してください。“Bluetooth”を“Off”に設定している場合は、Bluetooth 機能がはたらきません。(p.47 ページ)

スマートフォンなどの Bluetooth 機器と接続できない。

- “Headphone”を“On”に設定している場合は、スマートフォンなどの Bluetooth 機器を接続できません。リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを“Bluetooth”に切り替えてから Bluetooth 機器を接続してください。(p.47 ページ)

Bluetooth ヘッドホンを接続できない。

- Bluetooth ヘッドホンを本機に近づけてください。
- Bluetooth ヘッドホンの電源を入れ直してからお試しください。
- 設定メニューの“Bluetooth”の設定で、“Headphone”を“On”に設定してください。(p.47 ページ)
- 本機が別の Bluetooth ヘッドホンに接続されていないことを確認してください。設定メニューの“Devices”設定で、Bluetooth ヘッドホンの接続状態を確認できます。(p.47 ページ)
本機が別の Bluetooth ヘッドホンに接続されている場合は、現在接続されている Bluetooth ヘッドホンを切断してから、使用したい Bluetooth ヘッドホンを接続してください。
- 入力ソースを Bluetooth に設定している場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。
- Bluetooth ヘッドホンが A2DP プロファイルに対応していない場合は、本機に接続することはできません。
- 著作権保護技術 (SCMS-T) に対応した Bluetooth ヘッドホンのご使用をおすすめします。すべての Bluetooth 機器に対して接続や動作を保証するものではありません。
- 本機に接続できる Bluetooth ヘッドホンは 1 台です。最大 6 台まで Bluetooth ヘッドホンを登録することができます。設定メニューの“Bluetooth” - “Devices”から登録済みの機器を切り替えることができます。(p.47 ページ)

音が途切れる。

- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth 機器の間にある障害物を取り除いてください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- Bluetooth の再接続操作をおこなってください。

Bluetooth ヘッドホンを使用すると音が途切れる、またはノイズが発生する。

- Bluetooth ヘッドホンの本機に近づけてください。
- 本機と Bluetooth ヘッドホンの間にある障害物を取り除いてください。
- Bluetooth ヘッドホンを再接続してください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- Bluetooth は 2.4GHz 帯域を使用しており、Wi-Fi の 2.4GHz 帯域の電波と干渉する可能性があります。使用しているルーターの Wi-Fi が 5GHz 周波数帯域に対応している場合、他の機器の Wi-Fi 接続を 5GHz 周波数帯域に変更してください。

Bluetooth ヘッドホンの音声が遅延する。

- 本機は Bluetooth ヘッドホンの音声遅延を調節することはできません。

デジタル機器の音声を再生できない(HDMI ARC、Coaxial、Optical)

“Unlocked”と表示される。

- デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Unlocked”を表示します。(P.40 ページ)

“Unsupported”と表示される。

- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。(P.40 ページ)
- HDMI ARC 経由でのテレビ音声の再生は、PCM 2 チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。

入力ソースが“HDMI”、“OPTICAL”または“COAXIAL”に切り替わる

本機に接続しているテレビの電源を入ると入力ソースが“HDMI”、“OPTICAL”または“COAXIAL”に自動的に切り替わる。

- 設定メニューの“TV Auto-Play”を“Off”に設定してください。(P.46 ページ)

HDMI コントロール機能がはたらかない

HDMI コントロール機能がはたらかない。

- HDMI コントロール機能に対応していない機器は操作できません。また、接続する機器や設定によっては、HDMI コントロール機能が動作しない場合があります。その場合は、外部機器を直接操作してください。
- 本機に接続しているテレビの HDMI コントロール機能の設定が有効になっているか確認してください。

FILTER 1/2 が切り替わらない

FILTER 1/2 が切り替わらない。

- デジタル音声信号入力時および Bluetooth 再生時に FILTER ボタンを押した場合にのみ、FILTER 1/2 が切り替わります。入力ソースを確認してください。(P.31 ページ)

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料……故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代……修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

デジタル入力

■ 再生できる音声信号の仕様

□ HDMI ARC、Coaxial、Optical

	サンプリング周波数	ビット長
リニア PCM (2 チャンネル)	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	16/20/24 ビット

Bluetooth 機器の再生について

本機は、次の Bluetooth プロファイルに対応しています。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile):
この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、モノラルやステレオの音声データを高品質にストリーミング配信することができます。
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile):
この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、本機から Bluetooth 機器を操作することができます。

■ Bluetooth 通信について

本機からの電波放送は、医療機器の操作を妨げることがあります。電波干渉は故障の原因となるため、次の場所では本機と Bluetooth 機器の電源を必ず切ってください。

- 病院、電車、航空機、ガソリンスタンドや可燃性ガスを発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

HDMIについて

本機は次の HDMI 機能に対応しています。

- **ARC(Audio Return Channel)機能**

ARC 機能対応のテレビと本機を HDMI 接続するだけで、テレビの映像や音声を楽しめます。

- **HDMI コントロール機能**

HDMI コントロール機能対応のテレビと本機を HDMI 接続し、テレビの HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、機器間で相互にコントロールできます。

- 入力ソースの切り替え

テレビの電源をオンにすると、自動的に本機の電源もオンになり、本機の入力ソースが“HDMI”に切り替わります。

- 電源オフ連動

テレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源もオフになります。

- 音量調節

テレビのリモコンを使用して、本機の音量を調節できます。

- 音声出力先の切り替え

本機の電源がオンになると、テレビの音声は本機から出力されます。本機の電源がオフになると、テレビの音声はテレビのスピーカーから出力されます。



- 接続しているテレビによっては、動作しない機能があります。

用語の解説

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。

1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

リニア PCM

圧縮していない PCM(Pulse Code Modulation)信号です。MP3 などの非可逆圧縮音源と異なり、音質やダイナミックレンジの低下がありません。

ソースダイレクト

入力された音声信号を、音質調節回路(BASS/TREBLE/BALANCE)を通さずに出力するため、より原音に忠実な再生がおこなえます。

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで Ω (オーム) という単位であらわします。この値が小さいほど大きな電力が得られます。

ペアリング

ペアリング(登録)とは、Bluetooth 機器と本機を接続するために必要な操作です。ペアリングすると互いの機器が認証し合うので、混線することなく接続できます。

はじめて Bluetooth 機器を接続する場合は、最初に本機と本機に接続する Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。

登録商標について



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、DEI Sales, Inc.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。



Qualcomm® aptX™
Adaptive

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries, used with permission. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.



HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI のトレードドレスおよび HDMI ロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

主な仕様

■ オーディオ部

定格出力(20Hz~20kHz 両チャンネル同時駆動):	50W×2(8Ω 負荷) 65W×2(4Ω 負荷)
全高調波歪率(20Hz~20kHz 両チャンネル同時駆動、8Ω 負荷):	0.08%
周波数特性(CD、1W、負荷 8Ω):	5Hz~100kHz ±3dB
ダンピングファクター(負荷 8Ω、20Hz~20kHz):	100 以上
入力感度/インピーダンス:	PHONO(MM): 1.6mV/47kΩ CD、LINE 1、LINE 2: 155mV/15kΩ
出力電圧(PREAMP OUT):	L/R: 1.3V SUBWOOFER: 200mV
PHONO 最大許容入力(1kHz)MM:	80mV
RIAA 偏差(20Hz~20kHz):	±1.0dB
S/N 比(IHF A ネットワーク、負荷 8Ω):	PHONO(MM): 85dB(5mV 入力時) CD、LINE 1、LINE 2: 110dB(定格出力)
トーンコントロール:	BASS(50Hz): ±10dB TREBLE(15kHz): ±10dB

■ Bluetooth 部

音声フォーマット:	aptX Adaptive/aptX HD/aptX/AAC/SBC-受信 aptX Adaptive/aptX HD/aptX/SBC-送信
オーディオ・アプリケーション:	Classic Audio(AVRCP)-受信 Classic Audio-送信
送信出力:	Power Class 1
一般通信範囲:	見通し距離 30m *1

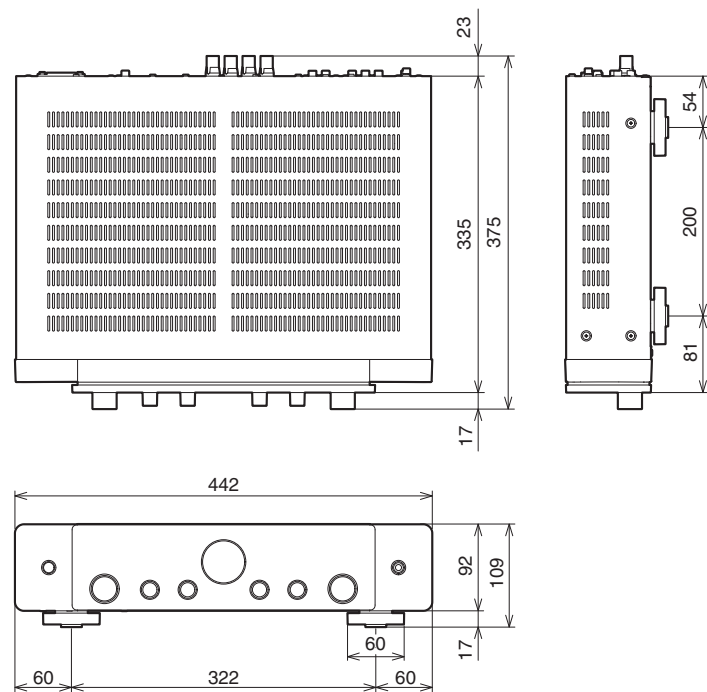
*1 実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。

■ 総合

動作温度:	+5℃～+35℃
電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	150W
スタンバイ時の消費電力:	0.3W
電池の種類:	マンガン乾電池(リモコン用)

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法(単位:mm)



■ 質量:7.9kg

索引

B

Bluetooth 機器 33

C

CD プレーヤー 20, 32

お

オートスタンバイモード 48

音量 31

こ

故障かな?と思ったら 55

こんなときの解決方法 53

す

スピーカー 18

スピーカーインピーダンス 70

せ

設定メニュー 一覧 44

そ

ソースダイレクト 42, 70

て

ディスプレイの明るさ 43

テレビ 21

と

トーン 42

に

入力ソース 31

ね

ネットワークオーディオプレーヤー .. 20

は

パワーアンプ 26

ふ

ブルーレイディスクプレーヤー 20

フロントパネル 8

へ

ペアリング 33

ほ

保護回路 70

み

ミュートリング 31

り

リアパネル 10

リモコン 12

リモコンコード設定 51

れ

レコードプレーヤー 20

marantz

5411 12189 00AS